



# 深江中学校だより

令和4年7月13日

第6号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～  
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

## 長崎っ子の心を見つめる教育週間

本校では、7月3日（日）～8日（金）の期間を「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に設定し、様々な活動を行いました。3日（日）は、例年通り「ブループロジェクト」として、親子で海岸清掃を実施しました。例年よりもゴミは少なかったようですが、113名の保護者の皆様にご参加いただき、海岸を綺麗にすることができました。これまで、コロナ禍で親子揃っての活動が制限されていたため、たいへん貴重な機会となりました。また、7日（木）には学活でSNSの利用に関する内容で、8日（金）には道徳で命に関する内容で、それぞれ授業の配信も行い、各クラス数名ずつの方から視聴いただいたようでした。6日（水）の朝には、校長講話を行いました。わざわざ地域の方3名が体育館まで足を運んでくださり、お聴きいただきました。早朝よりご来校いただき感謝申し上げた次第です。以下に、講話の内容を一部抜粋して掲載しています。講話の最後に、「5つのメッセージ」として私から生徒全員へ送った言葉です。

- 1 あなた方一人一人は、家族や友達、先生方にとって、とても大切な存在であり、その命はかけがえのないものです。
- 2 人は、誰にでも心が苦しい時があり、不安や悩みを抱えることは当たり前です。
- 3 心が苦しい時は、自分一人で考え込まず、誰かに相談してください。あなたの周りには、家族や友達や先生方など、話を聞いてくれる人が必ずいます。
- 4 どんな苦しさも、いつまでも続くものではなく、必ず新しい生活が始まり、心の様子は良い方向へ変わっていきます。
- 5 苦しんでいる人がいたら、話を聞いてあげると、苦しんでいる人の心が軽くなります。そんな時は、家族や先生等にも相談して、助けを求めることも忘れないでください。

## 地域と共にある学校（地域が学校を支える・学校が地域を支える）

前回の学校だより（第5号）で、「挨拶・返事・笑顔」について、記事を書かせていただきましたが、そのことで数名、地域の方から電話で、中にはわざわざご来校いただき、ご意見等をいただきました。特に、「自転車に乗った中学生の男子生徒（おそらく1年生）3～4名が、大きな声で気持ちよく挨拶してくれた。たいへん素晴らしかった。ぜひ、学校でも褒めてほしい。」といったお言葉をいただき、たいへん嬉しく思いました。同時に、学校だよりや地域での子供たちの様子に関心をもっていることを、たいへんありがたく感じた次第です。少子化で地域から子供が少なくなっている昨今、子供に「生きる力」を育むために、地域の教育力は欠かせないと痛感させられました。また、改めて「学校は地域と共にあるもの」「学校は地域に支えられているもの」「学校は地域を支えている存在でもあるもの」との思いを強くしました。これに甘んじることなく、本校職員と共に更に気を引き締め、学校教育目標の具現化に向けて日々の教育活動を充実させていきたいと思っております。

保護者の皆様、地域の皆様に「感謝」です…。